

第101回未来医療セミナー

2017 10/26|木| 18:00~19:00

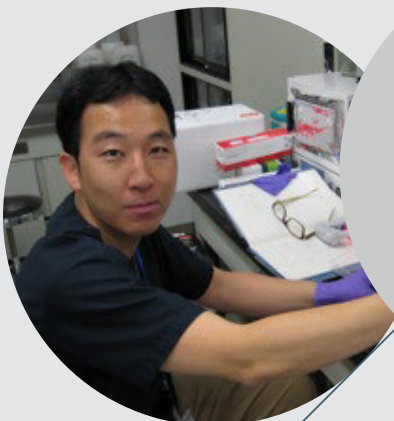
大阪大学吹田キャンパス
最先端医療イノベーションセンター1F マルチメディアホール
情報交換会(セミナー終了後 1Fホワイエ)

ゲノムの進化でがんを理解する

モデレーター：金田 安史 大阪大学大学院医学系研究科

谷内田 真一

大阪大学大学院医学系研究科
がんゲノム情報学 教授



がんのHeterogeneity(多様性)やがんクローンの進化は、次世代シーケンサーをはじめとする遺伝子解析技術の進歩に、がんのダーウィンの進化とがん幹細胞という魅力あるキーワードが相まって、注目の集まる研究分野となりました。これらの研究は、腫瘍の発生から進展、治療抵抗性といったがんの本質に迫る研究分野と考えています。

これまでに、膵臓がんの解剖検体を用いてがんクローンの進化を研究してきました。さらに希少がんである十二指腸乳頭部がんを研究対象として、正確な位置情報に基づき遺伝子変異をマッピングすることで、がんは形態学的な変化と平行に、遺伝子異常を蓄積しながら進化することを証明しました。本セミナーでは、本研究に携わることになったきっかけから、今後目指す研究についてご紹介したいと思います。

主催：大阪大学大学院医学系研究科

共催：未来医療交流会

橋渡し研究戦略的推進プログラム

大阪大学「戦略的TR推進による自立循環型新規医療創出拠点の実現」

後援：大阪大学医学部附属病院未来医療センター

お問い合わせ

大阪大学医学部附属病院未来医療センター ctr.osakauniv@dmf.med.osaka-u.ac.jp <http://www.hp-mctr.med.osaka-u.ac.jp>

障がいのある方など、特別な配慮が必要な場合は、事前にご連絡ください。